

令和元年度 第5回 木津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会（書面決議） 結果

1 議 案 第2期木津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について

2 決議結果 承認18名 ※委員総数18名

3 委員意見 5名 7件 （意見については、要約して記載しています。）

No.	種別	提 出 意 見（要約）	市 の 考 え
1	意見	パブリックコメントの結果から、「総合戦略」の「施策の詳細」と「施策のK P I」の関係、また「総合戦略」と「総合計画」の関係が市民にとっては理解が難しいのではないかと感じた。市民に理解を深めてもらい、関心と協力を喚起するためにも、わかりやすく広報する方法を検討願いたい。	「第2期総合戦略」については、広報紙にてわかりやすい概要版を、ホームページでは詳細版を掲載し、広く周知を図ってまいります。また、ふるさと応援事業補助金交付団体などのまちづくり団体にも中間報告会等の機会において説明することとしております。
2	意見	パブリックコメントの結果から、広く市民にパブリックコメントについて知られていないのではないかと思います。意見募集期間を延長して意見を集め議論するべきだと思う。	パブリックコメントについては、「木津川市パブリックコメント手続条例」に基づき実施し、広報紙・ホームページによる周知、1か月の意見募集期間を設けたところです。第2期総合戦略は広報紙やホームページ、関係団体への説明等により周知に努めてまいります。
3	意見	第2期総合戦略の策定にあたり、各部や各課との協議は行ったのか。	第2期総合戦略の策定にあたっては、各部課と協議し、第1期総合戦略の施策の進捗や目標達成状況を検証するとともに、第2期総合戦略の施策や目標設定を行いました。また、市長・副市長・教育長及び全ての部長職で構成する庁内本部会議においても議論や情報共有を行いながら進めてまいりました。今後も、総合戦略所管課と施策担当課との連携に努めてまいります。
4	意見	市職員の力量で地域住民を巻き込み、共に考え、協力し合いながら「地方創生」に取り組むべき。	「地方創生」においては、これまでも地域で活動される各団体と協働により進めてまいりました。今後も地域やまちづくりの主体となる団体との協働で「地方創生」を進めてまいります。
5	意見	子育て世代にとっては、城山台小学校の課題や学校給食における地産地消に関心が高い。城山台小学校については、今後も市の対応が注目されている。市としての説明や対応を明確に示す必要がある。	各施策においては、引き続き市民の皆様に丁寧なお知らせに努めてまいります。
6	意見	メガソーラーと防災時の電力供給などを結び付けた施策など、各施策を結び付け、利活用する視点を持つべきだと思う。	総合戦略の推進にあたっては、各施策を庁内横断的に連携を図ってまいります。
7	意見	各イベントをはじめ、空き家対策なども「地方創生」「地域の活性化」という枕詞がついてくるが、根本的な「地方創生」「地域の活性化」になっていない。右往左往せずにじっくり取り組んでいくべきだと考える。	第2期総合戦略においては、農業振興・雇用対策・歴史遺産の保全、活用・観光・子育て・公共交通・防災・教育・まちづくりに取り組む人材育成等、幅広い分野から「地方創生」をキーワードに取り組むこととしております。